

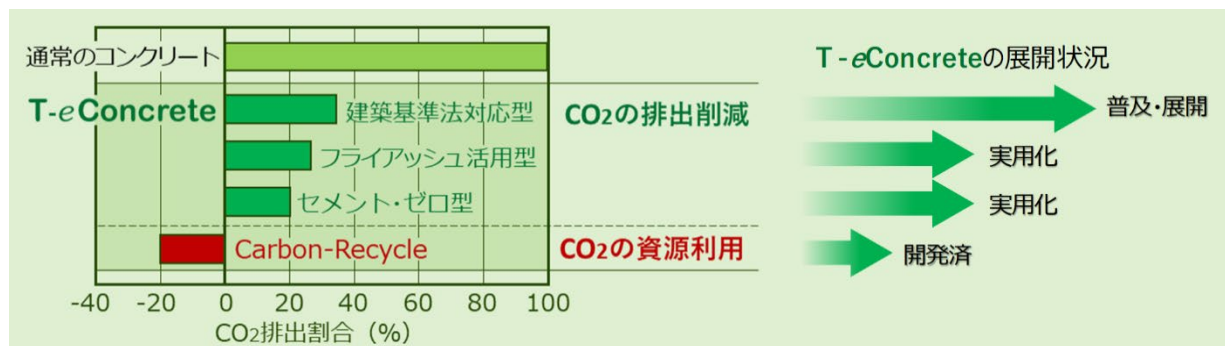
環境配慮コンクリート「T-eConcrete®」

出展者名：大成建設株式会社

セメントの一部またはすべてを産業副産物やカーボンリサイクル製品に置き換えて、CO₂の排出削減やCO₂収支のマイナスを実現します。

- セメントの使用量を抑制し、通常コンクリートと同等の強度、施工性を保持しながら、CO₂排出量の削減が可能です。
- セメントの代わりにに加える産業副産物などの配合状況による4タイプがあり、目的用途により適切な仕様のコンクリートで対応できます。

T-eConcreteのバリエーション



- 建築基準法対応型** : セメントの代わりに高炉スラグ（製鋼から生じる産業副産物）を使用します。建築基準法に準拠した建物の建設に適しています。
- フライアッシュ活用型** : セメントの代わりに高炉スラグに加えて、フライアッシュ（石炭灰の一種）を使用します。
- セメント・ゼロ型** : セメントを全く使用せず、高炉スラグを特殊な反応剤を用いて固めます。最大限のCO₂排出削減（最大80%）が可能です。
- Carbon-Recycle** : セメントを全く使用せず、炭酸カルシウムなどカーボンリサイクル製品と高炉スラグを特殊な反応剤を用いて固めます。コンクリート内部にCO₂を固定することにより、CO₂排出割合（固定・排出の収支）をマイナスにします。

適用事例（セメント・ゼロ型）



土間コンクリート
（赤枠内）



シールドセグメント

Carbon-Recycle

